



竹中 勇人 Hayato Takenaka (ヴァイオリン)

給費特待生として東京音楽大学付属高校を経て、東京音楽大学に入学。卒業と同時に新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。同時に東京音楽大学研究科に進む。2000年には同大学の欧州室内楽ツアーに参加し、西村朗氏の新作などを演奏し好評を博す。新日フィルでは、同オケメンバーで弦楽四重奏団を結成し、JTホールほか日本各地で演奏会を行う。ヴァイオリンを二村英之、中道三代子氏に師事。スカパーズのレッスンを受ける。若手作曲家、並井一歩氏より星の植民地という作品を献呈される。東京音楽大学非常勤講師。1977年生まれ。新潟県出身。



坪井 隆明 Takaaki Tsuboi (ファゴット)

1987年国立音楽大学卒業。同年リサイタルを開催。1992年第9回日本管打楽器コンクールファゴット部門第1位入賞。大友直人指揮東京交響楽団とウェーバーの協奏曲を共演。1994年 新日本フィルハーモニー交響楽団に副首席奏者として入団。2008年より同団首席奏者。2009年NHK-FM/FMリサイタル出演。2008年から国立音楽大学2014年からはコンセルバトワール尚美ディプロマ講師として後進の指導にもあたっている。



澤田 和慶 Kazuyoshi Sawada (ヴァイオリン)

97年東京音楽大学入学。在学中に特待生奨学金を得る。01年 同大学研究科入学。同年 新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。03年 同オケストラとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を共演。05年アフィニス夏の音楽祭に参加。これまでに 藤原浜雄、四方恭子、ヴァルター・フォルビートの各氏に師事



大森 啓史 Keiji Oomori (ホルン)

東京藝術大学音楽学部を経て、同大学院を修了。1995年、第10回練馬文化センター新人演奏会オーディションにて優秀賞受賞。アフィニス夏の音楽祭に2度にわたり参加。1998年1月より1年間シカゴへ留学。現在(公財)千葉交響楽団ホルン奏者、エマーソン・プラス・クインテット、エロイカ木管五重奏団、ナチュールホルンアンサンブル東京メンバー、日本ホルン協会常任理事。これまでにホルンを小山 亮、守山 光三、松崎 裕、デール・クレヴェンジャーの各氏に師事。



高橋 正人 Masatake Takahashi (ヴィオラ)

中央大学理工学部、東京藝術大学附科を経て1984年、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。ピオラを東東俊之、白尾信子、ヨゼフ・シシュターの各氏に、室内楽をアマデウスカルテットの各氏に師事。フォルトゥーナ弦楽四重奏団メンバー。相模学園大学非常勤講師、都立新宿高校外部指導員。



内藤 知裕 Tomohiro Naitou (トランペット)

千葉県出身。1991年東京文化会館新進音楽家デビューコンサート出演。1993年第10回日本管打楽器コンクール第4位。大学在学中に東京都交響楽団に入団。1995年東京藝術大学卒業。第65回読売新人演奏会に出演。1996年第65回日本音楽コンクール第3位。1998年E.Smith国際コンペティションファイナリスト。2000年トゥーロン国際コンクールセミアファイナリスト。2002年文化庁在外研修員としてシカゴに留学。トランペットをW.スカーレット、杉本肇次各氏に師事。現在、東京都交響楽団、エマーソン・プラス・クインテットトランペット奏者、尚美学園大学非常勤講師。



山崎 泉 Izumi Yamasaki (チェロ)

1952年岡山県真庭市生まれ  
1971年島根大学教育学部入学  
1974年東京芸術大学器楽科入学  
1979年東京芸術大学器楽科卒業  
1979年新日本フィルハーモニー交響楽団入団  
1982年オーストリア「モーツァルト・チーム音楽院」に留学。1984年帰国  
これまでに、ハイティーン・リット・シャウワウ・女史、ウエジン・ヤン氏に師事。  
2015年新日本フィルハーモニー交響楽団退団  
公益財団法人庭エスパス文化振興財団アドバイザー



奥村 晃 Kou Okumura (トロンボーン)

1991年東京藝術大学入学。同年、第8回日本管打楽器コンクール入賞。1995年、東京藝術大学を安宅賞を受賞し卒業。同年、東京シティフィルハーモニック管弦楽団に入団。1996年、新日本フィルハーモニー交響楽団に移籍。1997年、第14回日本管打楽器コンクール第1位、及び東京都知事賞、文部大臣賞を受賞。現在、新日本フィルハーモニー交響楽団トロンボーン奏者、エマーソン・プラス・クインテット、メンバー。尚美ミュージックカレッジ専門学校講師。



片岡 夢児 Yumeji Kataoka (コントラバス)

大阪府出身。東京藝術大学を経て、同大学院修了。大学院修了時に、コントラバスとしては初の大学院アカンサス賞受賞。大学院在籍中に新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。現在同楽団コントラバス奏者。第3回秋吉台音楽コンクールコントラバス部門第2位。第4回秋吉台音楽コンクール弦楽器部門第2位。第19回コンセルヴァトワールエ21弦楽器部門第2位。これまでにコントラバスを永島義典氏に師事。株式会社演奏家協会会員。



柳生 和大 Kazuhiro Yagyu (チューバ)

2007年秋田大学教育学部化学部卒業。2009年東京芸術大学大学院音楽研究科修了。2007年第24回日本管打楽器コンクールチューバ部門第2位。2009年第21回全新人音楽祭グランプリ。2010年清洲国際音楽コンペティション(韓国)チューバ部門第3位。第27回日本管打楽器コンクールチューバ部門第1位および首席特別賞受賞。チューバを池田孝幸、杉山洋、福川隆一の各氏に師事。現在日本フィルハーモニー交響楽団チューバ奏者。スーリアン・プラスメンバー。洗足学園音楽大学、上野学園大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校コンセルヴァトワールディプロマ 各非常勤講師



升本 格 Itaru Masumoto (フルート)

山口県出身。桐朋学園大学卒業。国内外のオーケストラへの客演や、室内楽、ソロの演奏活動を行っている。またミュージカルでの演奏や、映画、テレビなど、多くの録音に参加。現在KAAT神奈川芸術劇場にて上演中の、「オペラ座の怪人(劇団四季)」で演奏している。  
2012年-2017年、新日本フィルハーモニー交響楽団契約員。  
フルートを石飛洋一、峰岸壮一、白尾影の各氏に師事。



萩原 勇一 Yuuichi Hagihara (指揮)

島根大学農学部環境保全科を経て、熊本県庁に入庁し農政課で働くも、指揮者への夢を諦めきれず、30歳でくらしき作陽大学音楽学部に入学。2005年3月、同大学指揮専修卒業。これまでに指揮法を志賀隆隆氏に師事。故・岩城宏之、田中一嘉、山下一嘉、J.R.ブリー、鈴木孝佳(TAD鈴木)各氏に学ぶ。管弦楽、オペラ、吹奏楽、邦楽等、岡山県内外で幅広い活動を行う他、作・編曲活動も行う。現在、エスパス管弦楽団、津山交響楽団、邦楽ラフォーの常任指揮者、オペララザラ山、Okayama Civic Hall Brass、やがけ混声合唱団の指揮者を務める。



庄司 知史 Satoshi Shouji (オーボエ)

国立音楽大学在学中に新進日本交響楽団へ入団し東京フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者を歴任し22年間在任。文化庁派遣在外研修員としてアメリカニューヨークへ留学。現在はジャンルを問わずスタジオオーケストラ中心に活動し全国各地のオーケストラへ客演首席として招かれている。さまざまな、橋原敬之、椎名林檎、スキマスイッチ、ら多数のコンサートサポートミュージシャンとして参加。沖縄県立芸術大学音楽学部、日本大学芸術学部音楽学科、フェリス学院大学音楽部各講師。



鈴木 良昭 Yosiaki Suzuki (クラリネット)

1944年東京生まれ。東京都立駒宮高等学校音楽課程を経て、東京藝術大学、及び同大学院修了。この間クラリネットを三島義典、千葉誠夫、北沢利也の各氏に師事。在学中、第37回日本音楽コンクール管楽器部門第1位、旧日本フィルハーモニー交響楽団を経て、1972年、新日本フィルハーモニー交響楽団に加入。1981-82年に渡米し元グラーランド管弦楽団首席、マルセラスにも師事し研鑽を積む。帰国後、再び新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者として、定年退職により2004年9月同楽団を退団するまでの偉業を挙げた。これまでにシムズとして、小澤征昭、手塚幸三、井上進長、小泉和裕の各氏に師事。ヴェーバー、フランスの協奏曲などを共演している。オーケストラ活動のほかサウンドスペース「アーク」などで、多くの海外公演に参加。現代音楽、室内楽の分野でも活躍した。「アーク」のメンバーとして中島健蔵音楽賞受賞。85年より桐朋学園大学、東京藝術大学などで後進の指導にもあたり、現在桐朋学園大学名誉教授、新日本フィルハーモニー交響楽団楽友、同楽団評議員。

エスパス管弦楽団 *Espace Orchestra*

「小さな町の大きな挑戦」。エスパス管弦楽団は、地域の音楽文化を育もうと、メンバーを公募し平成14年に結成。現在までに毎年の定期演奏会をはじめ、新年のニューイヤークンサート、新日本フィルハーモニー交響楽団室内アンサンブルとの共演、地域に出かけてのミニコンサートなど、真庭市の音楽文化発展のため積極的に活動している。

